

※おことわり  
金額は1万円未満を切り捨てしているため、合計金額が一致しない場合があります。

# 平成24年度

# 予算

平成24年度当初予算が3月議会で可決され、決定しました。  
行政運営の根幹である一般会計の総額は259億7,000万円で、市民目線に立ち、4つの柱「安全・安心な暮らしづくり」「高島の人づくり、地域づくり」「三里を活かした環境、産業づくり」「暮らしと産業を支える基盤づくり」を基本に編成しています。

図 財政課 ☎(25) 8111

## 平成24年度 会計別予算額

会計区分	平成24年度 予算額	前年度比
一般会計	259億7,000万円	▲3.7%
特別会計		
国民健康保険特別会計(事業勘定)	59億3,000万円	4.9%
国民健康保険特別会計(直診勘定)	8,290万円	2.9%
後期高齢者医療事業特別会計	4億9,550万円	13.5%
農林業集落排水事業特別会計	5億6,430万円	▲0.3%
下水道事業特別会計	23億1,800万円	▲1.2%
熱供給事業特別会計	600万円	▲4.8%
介護保険事業特別会計	45億1,600万円	10.6%
訪問看護ステーション事業特別会計	7,840万円	3.2%
事業会計		
水道事業会計	13億4,177万円	▲5.2%
病院事業会計	66億5,400万円	▲27.4%
介護老人保健施設事業会計	6億5,916万円	88.9%

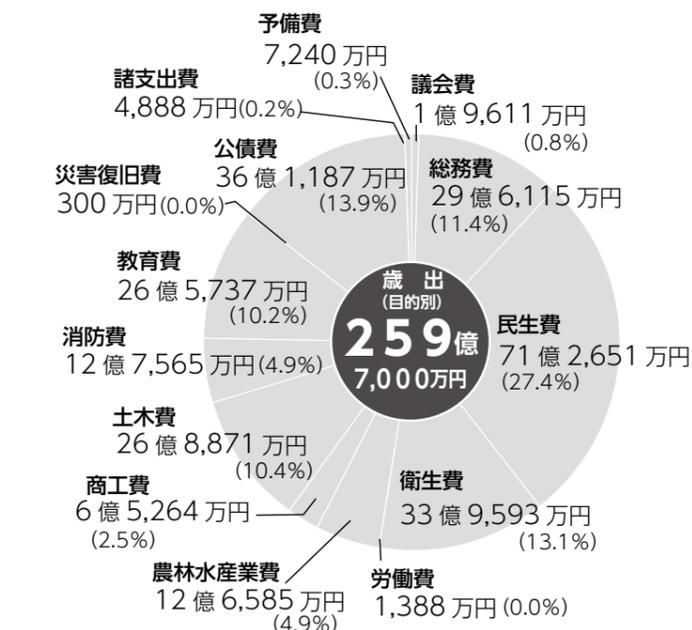
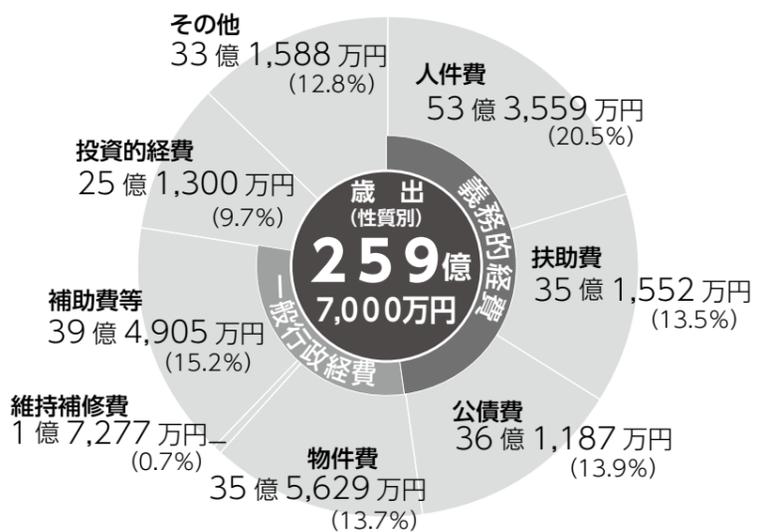
一般会計 259億7,000万円  
特別会計 139億9,110万円  
事業会計 86億5,493万円

予算総額  
**486億1,603万円**

## 一般会計 歳出

歳出では、性質別にみると人件費、扶助費、公債費の義務的経費は前年度より5,748万円の増額となつています。これは、公債費は減少しているものの、障がい者福祉サービスの給付費の伸びによる扶助費の増加、共済組合負担金の改定や退職手当組合負担金の増額などにより人件費が増加しているためです。一般行政経費は、高島市民病院の建設事業費の縮減

に伴い、病院事業会計への負担金大幅に減額することから補助費等で14億2,683万円の減となつています。投資的経費は、私立保育園、幼稚園の整備事業に対する補助金が大幅に伸びたほか、市道改良事業や観光・福祉施設等の改修事業費などが伸びたことから、前年度と比較して1億9,567万円の増となつてい



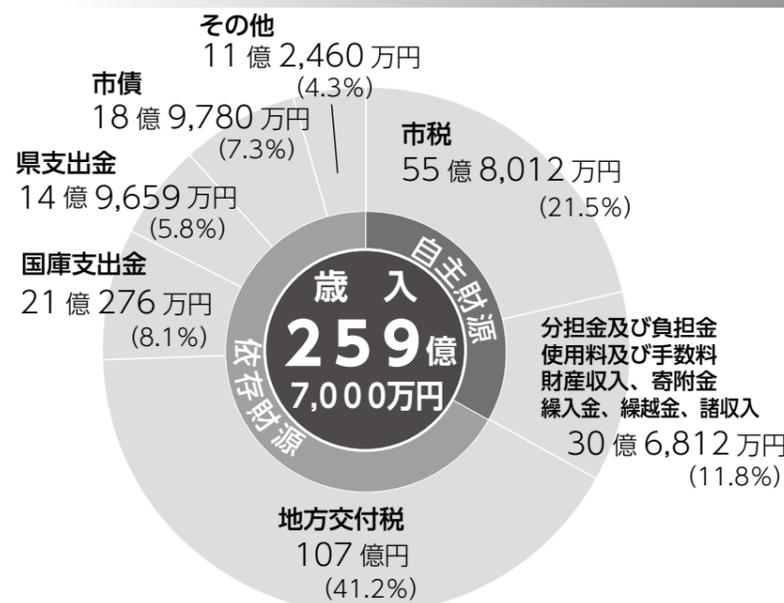
### 用語説明

#### ■義務的経費

人件費、扶助費、公債費のこと。その支出が法律などで義務づけられていて、自由に減らすことができません。義務的経費の比率によって、財政の自由度が左右されます。高島市の場合、義務的経費の割合は約半分となっています。

## 一般会計 歳入

歳入では、自主財源が4億5,959万円の減額となつています。主な要因は、市税が固定資産税の評価替えの影響により、前年度に比べて8,595万円の減額となるほか、減債基金や地域福祉基金の取り崩し額は増加するものの病院建設準備基金繰入金が12億円を超える大幅な減額となるためです。



### 用語説明

#### ■自主財源

市が自主的に収入することができるお金のこと。

#### ■依存財源

国や県からの補助金など、市が自主的に収入することができないお金のこと。

依存財源は、市債残高を減らす観点から、交付税措置の低いものは極力借入れない方針で予算編成を行っています。また、普通交付税の補てん措置である臨時財政対策債が、前年度より1億円増の11億円を計上していますが、市債全体としては、昨年度に比べ1億4,620万円の減となっています。

## あなたの納めた1万円の使い道は？

議会費	議会の運営のために	76円	総務費	庁舎や財産の維持管理、公共交通のために	1,140円	民生費	障がい者や高齢者の福祉の充実や子育て支援のために	2,745円
衛生費	環境保全、健康増進のために	1,308円	農林水産業費	農林業や水産業の振興のために	487円	商工費	商工業、観光振興のために	251円
土木費	道路や公園などの施設改修、整備のために	1,035円	消防費	消防など災害対策のために	491円	教育費	学校教育、文化、スポーツの振興のために	1,023円
公債費	借金返済のために	1,391円	労働費・予備費・災害復旧費・諸支出金	勤労者支援や緊急時の予備などに	53円			

※この金額は、一般会計を割り戻した金額です。

